

AC100V入力、5V/30mA出力タイプ

非絶縁型AC/DCコンバータ

BP5038A1

●絶対最大定格／Absolute Maximum Ratings

Parameter	Symbol	Limits	Unit
入力電圧	V_i	170	V
出力電流	I_o	30	mApk
静電破壊耐量	V_{surge}	2	kV
動作温度範囲	T_{opr}	-20~+80	°C
保存温度範囲	T_{stg}	-20~+85	°C

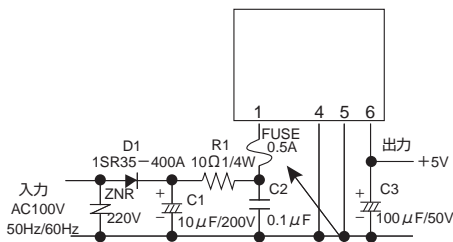
●電気的特性／Electrical Characteristics

Parameter	Symbol	Min.	Typ.	Max.	Unit	Conditions
入力電圧範囲	V_i	113	141	170	V	DC(80~120VAC相当)
出力電圧	V_o	4.7	5.0	5.3	V	$V_i=141V, I_o=15mA$
出力電流	I_o	0	—	30	mA	$V_i=141V$ *1
ラインレギュレーション	V_r	—	0.1	0.3	V	$V_i=113\sim170V, I_o=15mA$
ロードレギュレーション	V_l	—	0.15	0.3	V	$V_i=141V, I_o=0\sim15mA$ *2
出力リップル電圧	V_p	—	0.05	0.15	Vp-p	$V_i=141V, I_o=15mA$
電力変換効率	η	25	33	—	%	$V_i=141V, I_o=30mA$ *2

*1 最大出力電流は周囲温度により変わります。ディレーティングを参照ください。
*2 ロードレギュレーション・変換効率を参照ください。

●応用回路例

BP5038A1



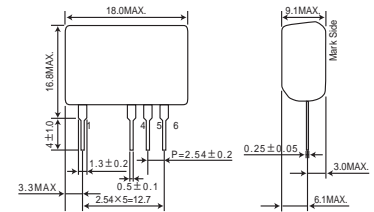
安全のため、ヒューズを必ずご使用ください。

ご使用にあたっては貴社製品に実装された状態で必ず評価、確認をお願いします。
特に出力負荷電流が絶対最大定格を超えていないか、カレントプローブ等でご確認をお願いします。

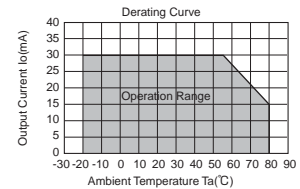
外付け部品について

- FUSE: ヒューズ 速断型ヒューズ0.5Aを必ずご使用ください。
- C1: 入力平滑用コンデンサ 耐圧は200V以上 3.3 μ F~22 μ F
許容リップル電流は0.13Arms以上
- C2: 雑音端子電圧低減用 耐圧は200V以上 0.1 μ F~0.22 μ F
フィルムコンデンサまたはセラミックコンデンサ
雑音端子電圧を低減します。定数は実機にてご評価ください。
- C3: 出力平滑用コンデンサ 耐圧は25V以上 100 μ F~470 μ F 低インピーダンス品
ESR(等価直列抵抗)は0.39 Ω 以下
許容リップル電流は0.1Arms以上のものをご使用ください。
出力リップル電圧に影響を与えます。実機でご評価ください。
- D1: 整流用ダイオード せん頭逆方向電圧が400V以上、平均整流電流が0.5A以上
せん頭サージ電流が20A以上の整流用ダイオードをご使用ください。
(本製品は全波整流でもご使用頂けます。)
- R1: 雑音端子電圧低減用 10 Ω ~22 Ω 1/4W
雑音端子電圧を低減します。定数は実機にてご評価ください。
- ZNR: パリスタ パリスタは必ずご使用ください。雷サージや静電気から
本製品を保護します。

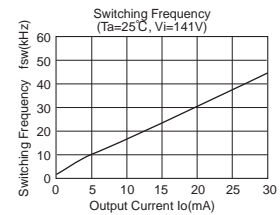
●外形寸法図 (単位: mm)



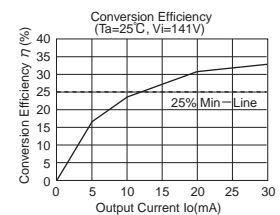
●ディレーティングカーブ



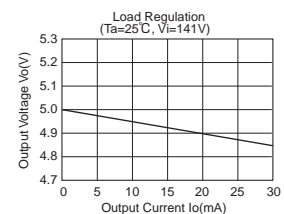
●スイッチング周波数



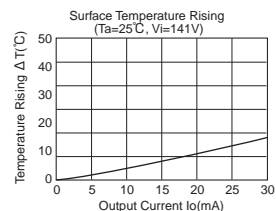
●変換効率



●ロードレギュレーション



●表面上昇温度



電源モジュールご使用にあたっての注意事項

安全上の注意事項

- 1) 本製品は一般的な電子機器(AV機器、OA機器、通信機器、家電製品、アミューズメント機器等)への使用を意図しています。極めて高度な信頼性が要求され、その製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような機器、装置(医療機器、輸送機器、航空宇宙機、原子力制御、燃料制御、カーアクセサリを含む車載機器、各種安全装置等)へのご使用を検討される際は事前に弊社営業窓口までご相談願います。また、使用に際しても当製品の不具合で人命、その他の重大な損害発生が予測される場合は下記のご検討でフェールセーフ設計の配慮を十分行い、安全性の確保をお願いいたします。
 - ①保護回路、保護装置を設けてシステムとしての安全を図る。
 - ②冗長回路等を設けて単一故障では不安全とならないようにシステムとして安全を図る。
- 2) 当製品は一般電子機器に標準的な用途で使用されることを意図しており、下記のような特殊環境での使用を配慮した設計はしておりません。従いまして、下記特殊環境でのご使用及び条件では性能に影響を受ける恐れがあり、ご使用にあたっては貴社にて十分に性能、信頼性等をご確認の上ご使用ください。
 - ①水・油・薬液・有機溶剤等の液体中でのご使用。
 - ②直射日光・屋外暴露、塵埃中でのご使用。
 - ③潮風、Cl₂、H₂S、NH₃、SO₂、NO₂等の腐食性ガスの多い場所でのご使用。
 - ④静電気や電磁波の強い環境でのご使用。
 - ⑤発熱部品に近接した取付け及び当製品に近接してビニール配線等、可燃物を配置する場合。
 - ⑥本製品を樹脂等で封止、コーティングしてのご使用。
 - ⑦無洗浄半田付けや半田付け後のフラックス洗浄で水及び水溶性洗浄剤をご使用の場合。
 - ⑧製品が結露するような場所でのご使用。
- 3) 本製品は耐放射線設計はなされておられません。
- 4) 仕様書の記載内容を逸脱して当製品をご使用されたことによって生じた不具合につきましては弊社では保証致し兼ねますのでご了承下さい。
- 5) 当製品の安全性について疑義が生じた場合は速やかに弊社へご連絡戴くと共に貴社にて技術検討戴けます様願います。

応用回路、外付け回路等に関する注意事項

- 1) 外付け回路定数を変更してご使用になる時は静特性のみならず、過渡特性も含め外付け部品及び当社部品のバラツキ等を考慮して十分なマージンをみて決定して下さい。また、特許に関しましては弊社では十分な確認はできておりませんのでご了承願います。
- 2) 記載されております応用回路例やその定数などの情報につきましては、本製品の標準的な動作や使い方を説明するものです。従いまして、量産設計をされる場合には、外部諸条件を考慮していただきます様お願いいたします。

工業所有権に関する注意事項

- 1) 本資料は弊社の著作権、ノウハウに関わる内容も含まれておりますので、本製品の使用目的以外には用いないようお願いいたします。また、弊社に連絡ないまま複製、第三者への開示をしないようお願い申し上げます。
- 2) ここに掲載されております製品に関する応用回路例、情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関しまして第三者の工業所有権等の知的財産権及びその他の権利に対する保証を示すものではございません。従いまして、(1)上記第三者の知的財産権の侵害の責任、又は、(2)これらの製品の使用により発生する責任、につきましては弊社ではその責を負いかねますのでご了承下さい。
- 3) これら製品の販売に関し、これらの製品自体の使用、販売、その他の処分以外には、弊社の所有または管理している工業所有権、等の知的財産権またはその他のあらゆる権利について明示的にも黙示的にも、その実施また利用を買主に許諾するものではありません。

ご 注 意

本資料の一部または全部をロームの許可なく、転載・複写することを堅くお断りします。

本資料の記載内容は改良などのため予告なく変更することがあります。

本資料に記載されている内容は製品のご紹介資料です。ご使用にあたりましては、別途仕様書を必ずご請求のうえ、ご確認ください。

本資料に記載されております応用回路例やその定数などの情報につきましては、本製品の標準的な動作や使い方を説明するものです。したがって、量産設計をされる場合には、外部諸条件を考慮していただきますようお願いいたします。

本資料に記載されております情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、万が一、当該情報の誤り・誤植に起因する損害がお客様に生じた場合においても、ロームはその責任を負うものではありません。

本資料に記載されております技術情報は、製品の代表的動作および応用回路例などを示したものであり、ロームまたは他社の知的財産権その他のあらゆる権利について明示的にも黙示的にも、その実施または利用を許諾するものではありません。上記技術情報の使用に起因して紛争が発生した場合、ロームはその責任を負うものではありません。

本資料に掲載されております製品は、一般的な電子機器（AV機器、OA機器、通信機器、家電製品、アミューズメント機器など）への使用を意図しています。

本資料に掲載されております製品は、「耐放射線設計」はなされていません。

ロームは常に品質・信頼性の向上に取り組んでおりますが、種々の要因で故障することもあり得ます。

ローム製品が故障した際、その影響により人身事故、火災損害等が起こらないようご使用機器でのディレーティング、冗長設計、延焼防止、フェイルセーフ等の安全確保をお願いします。定格を超えたご使用や使用上の注意書が守られていない場合、いかなる責任もロームは負うものではありません。

極めて高度な信頼性が要求され、その製品の故障や誤動作が直接人命を脅かしあるいは人体に危害を及ぼすおそれのある機器・装置・システム（医療機器、輸送機器、航空宇宙機、原子力制御、燃料制御、各種安全装置など）へのご使用を意図して設計・製造されたものではありません。上記特定用途に使用された場合、いかなる責任もロームは負うものではありません。上記特定用途への使用を検討される際は、事前にローム営業窓口までご相談願います。

本資料に記載されております製品および技術のうち「外国為替及び外国貿易法」に該当する製品または技術を輸出する場合、または国外に提供する場合には、同法に基づく許可が必要です。



ローム製品のご検討ありがとうございます。
より詳しい資料やカタログなどご用意しておりますので、お問合せください。

ROHM Customer Support System

<http://www.rohm.co.jp/contact/>